

(公財) 仙台ひと・まち交流財団

「防災学習マスコットキャラクター」の

採用作品・佳作が決定しました！！

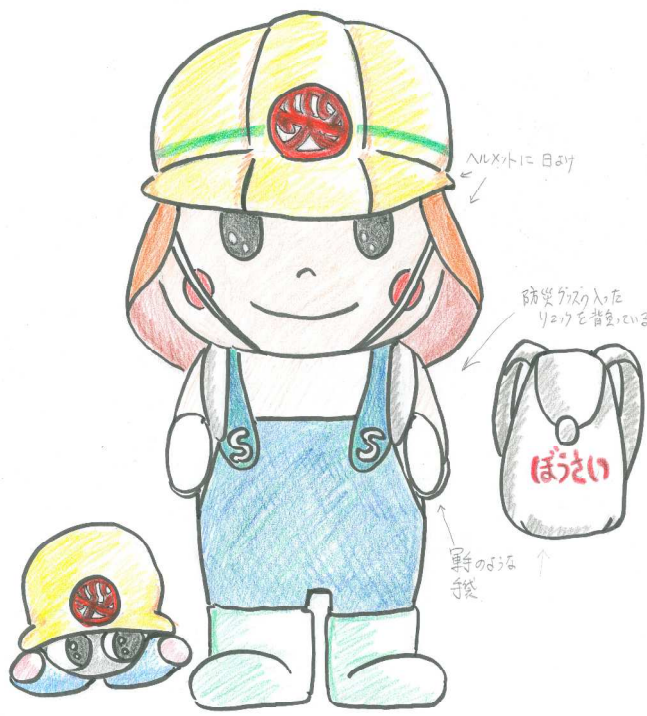
市民センター等で行う防災学習を多くの方へ広めていくために、防災・減災について「一緒に学び、考え、学ぶ手助けをしてくれる」ような親しみやすく安心感のあるキャラクターデザインを募集したところ、497件のご応募をいただきました。

7名の選考委員による第一次選考、第二次選考の結果、以下のとおり採用作品1作品、佳作2作品が決定し、10月25日（土）に表彰式を行いました。

たくさんのご応募をいただき、本当にありがとうございました。

採用作品については、現在着ぐるみを製作中です。今後、市民センター等で行う防災講座やイベントに登場しますので、楽しみにしてください。

■ 採用作品（1作品）



作者：今野 佳代 さん

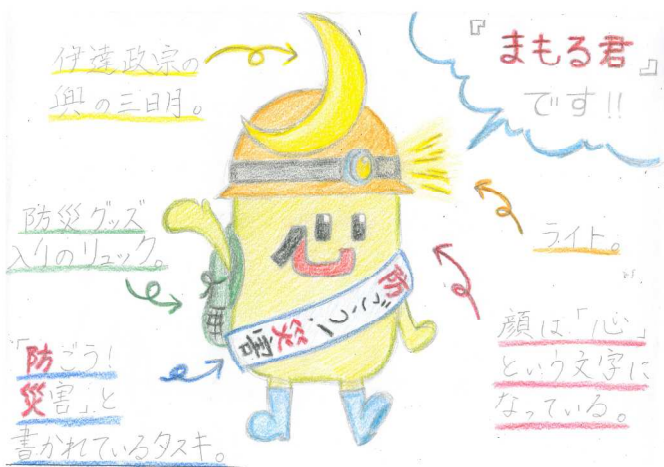
【作者のコメント】

勤めていた幼稚園時代の子どもたちを思い浮かべながら、親しみを持ってもらえるデザインをイメージして描きました。「災い」を防ぐというマークの付いたヘルメットをかぶり、防災グッズの入ったリュックを背負っています。困ったときには助けあえる小さな仲間といつも一緒です。

【選考委員のコメント】

ありそうでなかなかない作品だと思います。防災の要素が分かりやすく取り入れられていて、かわいらしく親しみやすいキャラクターだと思います。自分が言いたいというメッセージが感じられます。仲間がいて心強い感じがします。

■ 佳作（2作品）



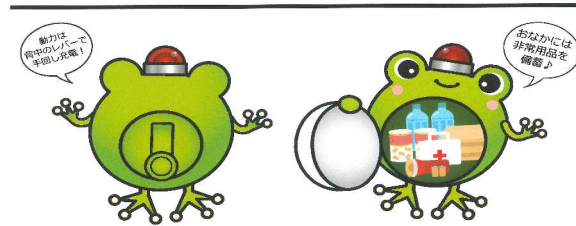
作者：岸 桃花さん

【作者のコメント】

顔を「心」という文字で表わしました。ヘルメットの三日月は伊達政宗をイメージしています。防災グッズの入ったリュックを背負い、「防ごう! 災害」と書かれたタスキをかけ、防災を呼びかけている「まもる君」です。

【選考委員のコメント】

政宗をモチーフに使い、顔が「心」になっているところが、要点をしっかり掴んでいて良いと思いました。「防災」「仙台」「学ぶ」が表現された、子どもが好きそうなキャラクターです。



作者：門田 奈津子さん

【作者のコメント】

震災の経験から「こんなものがあったら」という思いを自家発電機やお腹の中の防災グッズなどのデザインに取り入れました。防災情報を知らせるメガホンを持ち、「思い出してケロ」「忘れないでケロ」「災害に備えてケロ」と親しみやすい仙台弁で呼びかけています。

【選考委員のコメント】

「ケロ」という仙台弁やかえるのキャラクターに親しみやすさを感じられます。お腹から防災グッズが出てきているいろいろな教えてくれそうです。お腹の中に子どもが書いた震災の作文などが入っていると「思い出してケロ」「忘れないでケロ」につながるのではないかと思います。

■ 「防災学習マスコットキャラクター」表彰式

10月25日(土)に「防災学習マスコットキャラクター」の表彰式を行いました。
当財団の事務局長から、受賞者の方々へ表彰状と賞金が贈られました。



今回受賞された3作品とも、ご自分だけではなく、ご主人や弟さん、息子さんなどご家族との話し合いやアイデアなどを生かしながら完成されたものです。

この「防災学習マスコットキャラクター」が、多くの方々に親しまれ、家族や身近な人と共に防災・減災を考えるきっかけとなり、さらには自助・共助による取組が、ご家庭や地域へと広がってほしいと考えています。

これからも市民センターでは、防災講座やイベントの実施を通して、地域の皆様と共に防災・減災について取り組んでいきますので、今後ともどうぞよろしくお願いたします。